世界史を受講する皆さんへ

みなさん，こんにちは。
村山秀太郎です。

世界史の受験勉強を登山に喩えるなら，このテキストの空欄を全て答えられるように(記述式の大学を志望するなら書けるように)なるのが登頂ということになります。

幸か不幸か，このテキストをゲットしたのですから，完全制覇を目標にしましょう。

ただし実際の登山と異なるのは，登頂しなくても，つまり100%覚えられなくても合格は可能であるということです。80%の暗記でもかなり有望です。

ただ，最初から80%を目指して暗記すると，60%しか覚えられません。

だから，100%を目指し覚えなさい。
八合目からの風景も綺麗ではありますが，頂上からの絶景と満足感，安心感には代えられません。

それから，このテキストは全国津々浦々，離島であろうが海外であろうが，簡単に入手可能であるということを忘れてはなりません。

他のサプリ生よりも少なく覚えたら，相対的に成績は下回るということになります。もはや，受験生の２人に１人がサプリ生の時代です。

選択式問題の意味不明の語句は，用語集で調べてください。

このテキスト登頂は，トップレベルをめざす世界史受験生にとってのノルマです。

健闘を祈ります。

あなたの熱烈サポーター
バロンドール - ムラヤマ⑩

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

目　次

第１講	人類の起源・古代オリエント①	P４
第２講	古代オリエント②	P９
第３講	古代ギリシア①	P15
第４講	古代ギリシア②	P21
第５講	共和政ローマ	P25
第６講	帝政ローマとキリスト教の成立①	P30
第７講	帝政ローマとキリスト教の成立②	P38
第８講	インドの古代史	P41
第９講	中国文明の誕生～秦	P48
第10講	前漢・新・後漢	P52
第11講	魏晋南北朝	P57
第12講	隋～盛唐	P62
第13講	中唐～宋	
第14講	イスラーム以前の東南アジアと遊牧民・朝鮮	P71
第15講	初期イスラーム史	P76
第16講	イスラーム世界の分裂①	P80
第17講	イスラーム世界の分裂②	
第18講	ゲルマン人の大移動・フランク王国とローマ教会	P87
第19講	ノルマン人・ビザンツ帝国・十字軍	P92
第20講	商業の復活・神聖ローマ帝国史	P99
第21講	中世イギリス・フランス史と百年戦争	
	1 フランス史（カペー朝）	P107
	2 イギリス史（ケルト人～プランタジネット朝）	P109
第22講	モンゴル帝国と元	P112
第23講	明	P116
第24講	清とその周辺	P120
第25講	ティムール朝・サファヴィー朝・オスマン帝国	P123

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第１講
人類の起源・古代オリエント①

　メソポタミアのメソは「間」ポタモスは「川」，だから右のティグリスと左のユーフラテス両河の間。つまり今の(1)〔　　〕ということになる。イラク共和国の首都(2)〔　　〕は(3)〔　　〕に沿っている。

【シュメール→アッカド】世界最古の農耕の遺跡(4)〔　　〕は北メソポタミアだ。5000年前の最初の都市文明は民族系統不明の(5)〔　　〕人の都市で南メソポタミアにあった(6)〔　　〕だ。他が(7)〔　　〕，(8)〔　　〕で各都市国家には守護神がいた。(9)〔　　〕文明で(10)〔　　〕を使用し，(11)〔　　〕で所有権を示した。(12)〔　　〕が特色。崇拝(すうはい)のための人工の山(13)〔　　〕を造った。『(14)〔　　〕』が『旧約聖書』の巻頭の書『創世記(そうせいき)』の「ノアの洪水」の話に影響したということだ。ジッグラトは「バベルの塔」の話に影響した。

　シュメールの次が(15)〔　　〕系(語族)の(16)〔　　〕で前24世紀に(17)〔　　〕世が**メソポタミアを統一**した。全盛期のナラーム＝シンは「全世界の王」と呼ばれた。次いでシュメール系の(18)〔　　〕が一次復活し，**現存最古のウルナンム法典(ほうてん)**を残す。

【バビロン第１王朝＝古バビロニア】前19世紀に入ると，セム系の(19)〔　　〕人の(20)〔　　〕(古バビロニア)が(21)〔　　〕川沿いのバビロンを都とした。神は(22)〔　　〕。1902年に(23)〔　　〕(現在のイラン)で発見された第６代の王による「(24)〔　　〕」は，「(25)〔　　〕」の**同害報復の復讐(ふくしゅう)法で身分により異なる法を適用**した。この国は小アジアのインド＝ヨーロッパ語族の(26)〔　　〕により滅亡した。その後メソポタミアは北を(27)〔　　〕が南のバビロン付近を(28)〔　　〕王国が支配する。カッシートは(29)〔　　〕人に滅ぼされた。いずれも民族系統は不詳(ふしょう)だ。ミタンニからティグリス川上流のアッシュール付近で自立するのが(30)〔　　〕王国だ。ついでだが，初めて馬の家畜化をしたのはミタンニ王国だ。ミタンニの住民の大半は(31)〔　　〕人だった。

解答

（１）イラク　（２）バグダッド　（３）ティグリス川　（４）ジャルモ　（５）シュメール
（６）ウル　（７）ウルク　（８）ラガシュ　（９）青銅器　(10) 楔形文字(くさびがた)
(11) 円筒印章(えんとういんしょう)　(12) 神権政治　(13) ジッグラト　(14) ギルガメシュ叙事詩(じょじし)
(15) セム　(16) アッカド　(17) サルゴン１　(18) ウル第３王朝　(19) アムル
(20) バビロン第１王朝　(21) ユーフラテス　(22) マルドゥク　(23) スサ
(24) ハンムラビ法典　(25) 目には目，歯には歯　(26) ヒッタイト　(27) ミタンニ王国
(28) カッシート　(29) エラム　(30) アッシリア　(31) フルリ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【ヒッタイト】ヒッタイト王国は(32)〔　　〕語族で小アジア((33)〔　　〕高原，現トルコ共和国)の(34)〔　　〕(ハットゥシャシュ)を中心に興り，**最初に**(35)〔　　〕**を使用した**という点が最重要。(36)〔　　〕(古バビロニア)を滅ぼしたが，前12世紀に(37)〔　　〕に滅ぼされた。

【アッシリア】さて，アッシリア王国だ。ヒッタイト滅亡後強国になる。(38)〔　　〕中流(39)〔　　〕から興ったが，(40)〔　　〕が覚えるべき都だ。(41)〔　　〕世はイスラエル王国を滅ぼしエサルハドンが(42)〔　　〕年にエジプトを征服し**全オリエントを初めて統一**した。(43)〔　　〕王は**ニネヴェに最古の図書館**を造った。メソポタミアからナイル川までつまり**「肥沃(ひよく)な三日月地帯」からエジプトまで支配した**ものの，残酷な統治と過酷な税は反乱を招き，(44)〔　　〕年にメディアと(45)〔　　〕の連合軍の前に滅んだ。

【四王国時代】そして四王国分立時代に入る。
小アジアの(46)〔　　〕は都が(47)〔　　〕で**最古の鋳造貨幣(ちゅうぞうかへい)をあみだした**(48)〔　　〕語族。クロイソス王の富で有名。イラン高原の(49)〔　　〕はインド＝ヨーロッパ語族で都は(50)〔　　〕。新バビロニア（(51)〔　　〕語族の(52)〔　　〕人）の(53)〔　　〕世はユダ王国のヘブライ人を強制連行した(前586～(54)〔　　〕年の(55)〔　　〕)。彼はホームシックにかかったメディアからきた王妃のために故郷に似た風景の(56)〔　　〕を造ってあげた。4王国の残る一つが(57)〔　　〕（都サイス）だ。

【アケメネス朝ペルシア】これら4王国のうち(58)〔　　〕から自立したのがペルシア湾に近いペルシス地方の(59)〔　　〕に興った(60)〔　　〕朝ペルシア（(61)〔　　〕～(62)〔　　〕年）だ。
(63)〔　　〕世の時に自立し4王国のうち(64)〔　　〕，(65)〔　　〕，(66)〔　　〕を滅ぼし(67)〔　　〕人を捕囚(ほしゅう)から解放した。だから「(68)〔　　〕」**キュロス２世**といわれる。第2代(69)〔　　〕世が**エジプト第26王朝を滅ぼし全オリエント統一を実現**した（(70)〔　　〕年)。

解答

(32) インド＝ヨーロッパ　(33) アナトリア　(34) ボアズキョイ　(35) 鉄製武器
(36) バビロン第1王朝　(37) 海の民　(38) ティグリス川　(39) アッシュール
(40) ニネヴェ　(41) サルゴン2　(42) 前671　(43) アッシュール＝バニパル
(44) 前612　(45) 新バビロニア(カルデア)　(46) リディア　(47) サルデス
(48) インド＝ヨーロッパ　(49) メディア　(50) エクバタナ　(51) セム
(52) カルデア　(53) ネブカドネザル2　(54) 前538　(55) バビロン捕囚
(56) 空中庭園　(57) エジプト第26王朝　(58) メディア　(59) スサ　(60) アケメネス
(61) 前550　(62) 前330　(63) キュロス2　(64) メディア　(65) リディア
(66) 新バビロニア　(67) ヘブライ　(68) 解放者　(69) カンビュセス2　(70) 前525

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第３代(71)〔　　〕世は，東は(72)〔　　〕から東北はシル川とアム川がアラル海に注ぐ地域(73)〔　　〕，南はエジプトの(74)〔　　〕から西は(75)〔　　〕北岸の(76)〔　　〕地方の範囲を版図とした。州（サトラ）に分け，知事（(77)〔　　〕）を置きそれを(78)〔　　〕で監視した。(79)〔　　〕語を公用語とし，(80)〔　　〕**を整備し中央集権化し**，(81)〔　　〕から都(82)〔　　〕まで(83)〔　　〕を敷いた。また，次の(84)〔　　〕世と二代でゾロアスター教の新都(85)〔　　〕を建設した。また，いわゆる(86)〔　　〕でエーゲ海に派兵した。最終的には最後の王(87)〔　　〕世が(88)〔　　〕に敗れ滅亡した（(89)〔　　〕年)。統治の特色は「(90)〔　　〕」がキーワード。**ヘブライ人にエルサレムへの帰還と神ヤハウェの神殿再興を許可し，フェニキア人の商業活動を奨励**したからだ。

【メソポタミア・イラン文化】宗教は現世的で**多神教**が特色。**太陰暦・60 進法・占星術**の起源。

ダレイオス１世の事績が(91)〔　　〕（(92)〔　　〕山脈）に刻まれ，(93)〔　　〕世紀の(94)〔　　〕人(95)〔　　〕が解読した。**クセルクセス１世を讃える**碑文が(96)〔　　〕で(97)〔　　〕人(98)〔　　〕**がペルシア語楔形文字を解読**。

ゾロアスターの生存年代は確定できない。ゾロアスター教は**拝火教**ともいわれ(99)〔　　〕（光明・善神）(100)〔　　〕（暗黒・悪神）の**善悪二元論**で**最後の審判，天使と悪魔の思想がユダヤ・キリスト教に影響**した。(101)〔　　〕で国教となり，経典(102)〔　　〕が編纂された。

解答

(71) ダレイオス１　(72) インダス川　(73) ソグディアナ　(74) ナイル川
(75) エーゲ海　(76) トラキア　(77) サトラップ　(78) 王の目・王の耳　(79) アラム
(80) 駅伝制　(81) サルデス　(82) スサ　(83) 王の道　(84) クセルクセス１
(85) ペルセポリス　(86) ペルシア戦争　(87) ダレイオス３　(88) アレクサンドロス大王
(89) 前 330　(90) 寛容　(91) ベヒストゥーン碑文　(92) ザグロス　(93) 19
(94) イギリス　(95) ローリンソン　(96) ペルセポリス碑文　(97) ドイツ
(98) グローテフェント　(99) アフラ＝マズダ　(100) アーリマン　(101) ササン朝
(102) アヴェスター

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【古代エジプト】「**エジプトはナイルの賜物**（たまもの）」これは紀元前５世紀のギリシアの歴史家 (103)〔　　〕の言葉だ。エジプトは閉鎖的な地形で比較的侵入を受けにくい (104)〔　　〕の世界だ。ナイル流域にあった集落 (105)〔　　〕を**上エジプト（上流）の王が統一**した。

前６世紀の (106)〔　　〕による征服まで 26 の王朝が続くのだが，第３～６王朝が**古王国**時代で都は下エジプトの (107)〔　　〕，第４王朝の時 (108)〔　　〕に (109)〔　　〕がつくられた。(110)〔　　〕王のものが最大，近くに (111)〔　　〕がある。ギザはナイル左岸にありカイロの対岸の町だ。

第 11 ～ 12 王朝の**中王国**時代の都は (112)〔　　〕(現 (113)〔　　〕)。町の守護神が (114)〔　　〕だから，太陽神ラーと結びつき (115)〔　　〕が多神教の頂点に立った。エジプトの王 (116)〔　　〕(「大きな家」の意）は太陽神ラーの化身だ。

(117)〔　　〕系の (118)〔　　〕の侵入で中王国は滅亡するが，ヒクソスを撃退し，第 18 ～ 20 王朝の**新王国**時代になる。(119)〔　　〕の時に領土は最大になり，**現スーダンにかけて広がるヌビア砂漠からシリアにかけて**を版図とした。テーベにはアモンの (120)〔　　〕を建てた。(121)〔　　〕は (122)〔　　〕の一神教にし自ら (123)〔　　〕と名乗り (124)〔　　〕に遷都した。実子の (125)〔　　〕は**アモン神に戻し中心もメンフィスやテーベに戻した。**

前 13 世紀の第 19 王朝の (126)〔　　〕は小アジアの (127)〔　　〕王国との (128)〔　　〕に勝ったと吹（ふい）聴（ちょう）し記念碑として (129)〔　　〕をヌビア砂漠に造る。モーセに率いられたヘブライ人の「(130)〔　　〕」はこの頃と言われる。

異民族王朝の時代を経て前 (131)〔　　〕世紀前半にはエジプトは (132)〔　　〕に征服された。武断政治のアッシリアから第 26 王朝が (133)〔　　〕を都に独立するが，(134)〔　　〕年には (135)〔　　〕朝ペルシアの (136)〔　　〕により征服され以後約 200 年イラン人の支配を受けることになる。

解答

(103) ヘロドトス　(104) エジプト語族　(105) ノモス　(106) アケメネス朝ペルシア
(107) メンフィス　(108) ギザ　(109) 三大ピラミッド　(110) クフ
(111) スフィンクス　(112) テーベ　(113) ルクソール　(114) アモン
(115) アモン＝ラー　(116) ファラオ　(117) セム　(118) ヒクソス
(119) トトメス３世　(120) カルナーク神殿　(121) アメンホテプ４世　(122) アトン
(123) イクナートン　(124) テル＝エル＝アマルナ　(125) ツタンカーメン
(126) ラメス（ラムセス）２世　(127) ヒッタイト　(128) カデシュの戦い
(129) アブシンベル神殿　(130) 出エジプト　(131) 7　(132) アッシリア
(133) サイス　(134) 前 525　(135) アケメネス　(136) カンビュセス２世

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第1講　テスト

1　ハンムラビ王が統治した王国はどの民族によるものか。
①　アラム人
②　アムル人
③　フェニキア人
④　カルデア人

2　ヒッタイト王国を滅ぼしたのは次のどれか。
①　海の民
②　シュメール人
③　アッシリア人
④　イラン人

3　アッシリア王国の都は。
①　バビロン
②　ダマスクス
③　バグダッド
④　ニネヴェ

4　アケメネス朝が各州に置いた知事はどれ。
①　駅伝制
②　王の目・王の耳
③　サトラップ
④　アヴェスター

5　アケメネス朝は，以下のどの国から独立したのか。
①　メディア
②　リディア
③　カルデア
④　ヘブライ

第1講　テスト解答

1　②　　2　①　　3　④　　4　③　　5　①

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。